

○第69回プリオン専門調査会

日時：平成24年3月23日（金） 14：00～16：29

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

(1) 牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しについて

- ・感染実験等に関する科学的知見について、堀内専門委員から説明がなされた。BSE感染牛脳幹100g投与の実験は現実とかけ離れたレベルの実験と考えられるが、飼料規制や発生状況等により牛群の感染状況を検証しつつ、野外感染との関係、組織の感染性やその時期の検討に必要な知見を整理、検討していくこととされた。
- ・BSEの発生状況について、筒井専門委員から説明がなされ、日本の発生状況は、発症牛の誕生年でみた場合、二つのピークがみられること、また、飼料規制直後の2002年1月生まれの牛を最後に、それ以降に生まれた牛には、この10年間BSEの発生はみられないことから、飼料規制等のBSE対策の有効性が確認されつつあると考えられることが確認された。
- ・日本のBSEの侵入リスク、規制等の情報について、山本専門委員から説明がなされた。
- ・これまでに用いられた評価手法について、山本専門委員から説明がなされ、BSE非発生国に適用した「自ら評価」の手法を発生国に適用する上で検討が必要な事項について整理・検討することとされ、次回に具体的な評価手法について検討することとされた。
- ・次回の開催については、日程調整の上、決定することとされた。